

喜劇

# 二階の女

[二幕七場]

原作 獅子文六

脚本 飯沢 匡

演出 鶴山 仁

その時女が二階から降りて来た。この女は何者なのか……

文化勲章受章のユーモア小説の大家、獅子文六の短編小説を、  
喜劇の中にちよつとした毒を巧みに加えて飯沢匡が脚本化。

会期 2023年 12月13日(水) — 17日(日)

前売開始 10月31日(火) 全席指定 六〇〇〇円

銀座8丁目  
博品館劇場

# 喜劇 二階の女

[二幕七場]

原作 獅子文六 美術 乗峯雅寛  
 脚本 飯沢 匡 照明 古宮俊昭  
 演出 鶴山 仁 音響 小林 史  
 衣裳 伊藤早苗  
 舞台監督 竹内一貴  
 制作 小川 浩(NLT)  
 樋口正太(博品館劇場)

川端 楨二



加納 健次



阿知 波悟美



海宝 弘之



采澤 靖起 (文学座)



山田 敦彦



渡辺 力



杉山 美穂子



泉 関奈津子



安奈 ゆかり



山崎 華奈



亀井 惟志



吉越 千帆



小笠原 里奈



松本 健



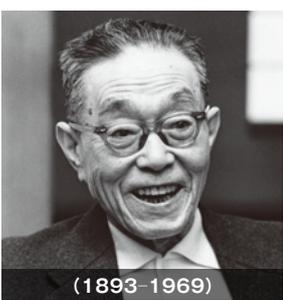
**イントロダクション** 「二階の女」は昭和二十年四国へ疎開した当時、愛媛新聞に連載された短編小説で、獅子文六は戦後の作品のうちで好きな方である、と残している。本作は小説をもとにして一九六八年のNLTコメディ路線一作目の演出家、飯沢匡が笑いと毒をきかせて脚本化したものである。

正体の知らない『二階の女』によって人がキリキリ舞いさせられる中に、人生の悲哀、夫婦の愛情などがユーモラスに、そして厳しく描き出されている。NLTの原点である二人の結晶といえる作品で今の時代を問う！

**あらすじ** 叔母に押し切られた見合い話のち、結婚。平凡で小心な夫・山崎と、内気で無愛想な妻つね子。三十四歳と二十八歳、晩婚ではあったものの、二人の平和で味気ない新婚生活が始まった。山崎は最近、藩史編纂の仕事を引き受け、自宅の二階を仕事場にして居る。彼は仕事に集中するため妻を二階へ上げることが多かった。しかし「二階に女がいる」とつね子は言い出す。二階には便所も洗面所もなく、女性を囲おうとしても無理があった。夫は妻の抱える不安や嫉妬を理解し、疲れているのだからと思っ飛ばらなく放置するが、果たして…。

——二階の女は現実なのか、夢か、あるいは妄想なのか——時は太平洋戦争へ向かいながら、人々の暮らしを少しずつ変えていく。

## 原作者 獅子文六



本名・岩田豊雄。小説家・劇作家・演出家・日本芸術院会員。久保田万太郎、岸田國士、と文学座を創立。フランス留学経験を生かした軽快で明るい文体のユーモア小説により流行作家となり、私小説「娘と私」はNHK朝ドラ第一作目の原作となる。文化勲章受章。1964年NLTを命名し顧問となる。

2023年12月13日[水]—17日[日]

■チケット料金[全席指定]  
 特典付チケット [特典の詳細は劇団NLT ホームページを] 7,500円 / 6,000円  
 ★金ヨル割 4,000円 / U-29 [NLTインターネット予約のみ] 3,000円  
当日、身分証明書提示必須

公演日	12/13(水)	14(木)	15(金)	16(土)	17(日)
開演時間	19:00	14:00	14:00/★19:00	13:00	13:00

開場は開演の30分前

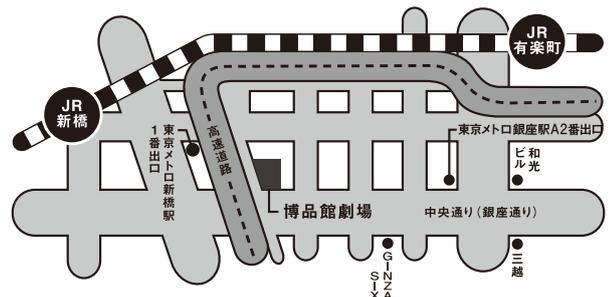
■チケットお取り扱い ●10月31日(火)より下記プレイガイドにてチケット発売

博品館1F TICKET PARK ☎03-3571-1003

NLT インターネット予約 (右のQRコードをご利用ください)

チケットぴあ <http://t.pia.jp/> チケットぴあ 二階の女

カンフェティ <https://www.gettiis.jp/>



## 銀座 博品館劇場

東京都中央区銀座8-8-11  
 TEL: 03-3571-1003

●JR「新橋駅」銀座より徒歩3分 ●東京メトロ銀座線「新橋駅」1番出口より徒歩3分  
 ●東京メトロ銀座線・丸の内線・日比谷線「銀座駅」A2番出口より徒歩5分

お問い合わせ：博品館劇場 ☎03-3571-1003 [午前11時～午後8時] / NLT ☎03-5363-6048 [平日午前11時～午後5時] <http://www.nlt-pro.nlt.co.jp/>